

「情報公開文書」

単機関研究用

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります、個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。但し、そのお申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。なお、同意の有無が今後の治療等に影響することはありません。

「前立腺癌に対する高密度焦点式超音波療法後の免疫学的影響」
に関する研究

1. 研究の対象

2021年9月14日から2024年3月31日までの間に、当院の腎泌尿器科で前立腺癌に対して高密度焦点式超音波療法（以下 HIFU）、またはロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術（以下 RARP）を受けられた方の中で、「前立腺癌に対する高密度焦点式超音波療法後の全身免疫機構への影響」に関する研究に参加いただいていた方

2. 研究実施期間

（機関の長の許可日） から 2028年3月31日 まで
251121

3. 研究目的・方法

目的

下記の試料・診療情報等を利用し、前立腺癌に対する HIFU 後の全身免疫機構への影響について解析を実施し、貴重なデータを得ることができました。今回得られたデータの信頼性を裏付けるために、同様の手法で新しく研究に参加していただく方の募集を開始しました。以前に参加していただいた方のデータと、新しく研究に参加していただく方のデータを合わせて、前立腺癌に対する HIFU 後の免疫学的影響についての解析に関するデータの信頼性を高めることを目的としています。

。

方法

この研究に使用する試料として、すでに保存されている項目4に記載する検体等を使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報が漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・試料：血漿
- ・情報：診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像）

5. 情報の提供先・提供方法

本研究は、当機関のみで実施予定のため、試料・情報を提供することはありません。

6. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため開示すべき利益相反はありません。

7. お問い合わせ先

東海大学医学部付属病院 （電話：代表 0463-93-1121 内線：2340）

研究責任者 腎泌尿器科 小路 直

問い合わせ担当者 腎泌尿器科 高橋 薫平